

**製品名: TAOK1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84071**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.59mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	116 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TAOK1
別名	hKB; MAP3K16; MARK kinase; MARKK; PSK2; STE20 like kinase; Taok1;;TAOK1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q7L7X3
免疫原	ヒト TAOK1 由来の合成ペプチド

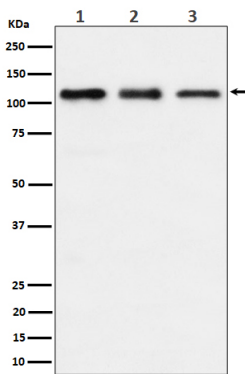
**背景**

セリン/スレオニンタンパク質キナーゼは、p38/MAPK14 ストレス活性化 MAPK カスケード、DNA 損傷応答、細胞骨格安定性の調節

など、様々なプロセスに関与する。MAP2K3、MAP2K6、MARK2 をリン酸化。上流の MAP2K3 および MAP2K6 キナーゼのリン酸化と活性化を媒介することにより、p38/MAPK14 ストレス活性化 MAPK カスケードの活性化因子として作用する。G タンパク質共役受容体を介した p38/MAPK14 へのシグナル伝達にも関与する。

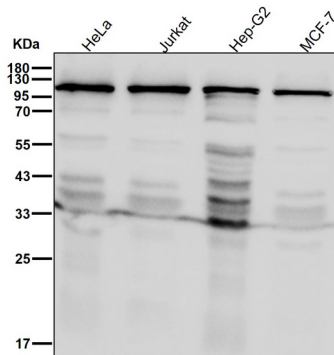
## 研究分野

## 画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) RAW 264.7 細胞溶解物、(3) C6 細胞溶解物における TAOK1 発現のウエスタンブロット解析。

すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。

